

日本学術会議による報告・提言等（平成 11 年以降）のリスト
～地盤工学関連および地盤工学との接点を見出し得ると考えられるもの～

地盤工学会中部支部顧問 松澤 宏

以下に示すリストは、日本学術会議の HP から、平成 11 年以降に取りまとめられた地盤工学関連および地盤工学との接点を見出し得ると考えられる報告、提言などを抜粋したものである。

1. 全般的事項

- 1) 第 17 期会長（吉川弘之）談話：俯瞰型研究プロジェクトの推進と総合的な科学技術政策の樹立に向けて（平成 11 年 1 月 20 日）
- 2) 日本の計画 Japan Perspective（平成 14 年 9 月）
- 3) 日本の展望－学術からの提言 2010（平成 22 年 4 月 5 日）

以下は、日本の展望委員会の分科会、委員会およびその他の委員会それぞれが取りまとめた提言・報告のうち、地盤関連の科学技術との接点が見出されるもの。

- 3-1) 提言 持続可能な世界構築のために：日本の展望委員会 持続可能な世界分科会
- 3-2) 提言 日本の展望－理学・工学からの提言：日本の展望委員会 理学・工学作業分科会
- 3-3) 提言 地球環境問題：日本の展望委員会 地球環境問題分科会
- 3-4) 報告 総合工学分野の展望：総合工学委員会
- 3-5) 報告 環境分野の展望－持続可能な社会に向けた国土・地球環境形成に対する環境学からの提案－：環境学委員会
- 3-6) 報告 地球惑星科学分野の展望－地球の未来予測への挑戦－：地球惑星科学委員会
- 3-7) 報告 土木工学・建築分野の展望－持続可能社会確立のための人・環境・社会基盤の関係性の再構築－：土木工学・建築学委員会
- 3-8) 報告 農学分野の展望：農学委員会

2. 地盤環境工学（社会環境工学研究連絡委員会地盤環境工学専門委員会）

- 4) 報告 地盤環境工学の現状と将来（平成 9 年 3 月）
- 5) 報告 21 世紀の地盤環境工学（平成 12 年 4 月）
- 6) 報告 地盤環境工学の新たな展開－次世代を担う人材育成に向けて－（平成 15 年 4 月）
- 7) 報告 地盤環境工学の展開と連携に向けて（平成 17 年 6 月）

3. 地盤工学との接点があると思われるもの

- 8) 報告 環境問題についての地理学からの提言（平成 12 年 3 月）：地理学研究連絡委員会
- 9) 答申 地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について（平成 13 年 11 月）
- 10) 報告 地震防災の技術と科学の質的向上と国際競争力強化（平成 15 年 2 月）：メカニクス・構造研究連絡委員会地震工学専門委員会
- 11) 報告 真の循環型社会を求めて（平成 15 年 6 月）：循環型社会特別委員会

- 12) 報告 森林情報システムの充実と活用に向けて（平成 17 年 3 月）：林学研究連絡委員会
 - 13) 勸告 大都市における地震災害時の安全の確保について（平成 17 年 4 月）：日本学術会議
 - 14) 報告 循環型社会形成への課題－“もの活かし大国”に向けて－（平成 17 年 6 月）：循環型社会と環境問題特別委員会
 - 15) 報告 洪水・渇水に対する備え（平成 17 年 6 月）：社会環境工学研究連絡委員会水資源学専門委員会
 - 16) 報告 流域圏生物システムの再構築（平成 17 年 7 月）：自然保護研究連絡委員会流域圏生物システムの再構築専門委員会
 - 17) 対外報告 生物多様性国家戦略改訂に向けた学術分野からの提案（平成 19 年 9 月）：環境学委員会自然環境保全再生分科会
 - 18) 答申 地球規模の自然災害の増大に対する安心・安全社会の構築（平成 19 年 5 月）：日本学術会議
 - 19) 提言 陸域－縁辺海域における自然と人間の持続可能な共生（平成 20 年 6 月）：地球惑星科学委員会
 - 20) 提言 地球環境の変化に伴う水災害への適応（平成 20 年 6 月）：地球惑星科学委員会・土木工学・建築学委員会合同 国土・社会と自然災害分科会
 - 21) 報告 自然共生流域圏の構築を機軸とした国土形成に向けて－都市・農村の再生（平成 20 年 7 月）：土木工学・建築学委員会国土と環境分科会
- など。